

2018年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2018年6月11日（月）15時00分～17時00分

場所：仙台管区気象台第1会議室

開会の挨拶：大林支部長

出席者紹介：各人から自己紹介

議 題

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 日本気象学会東北支部第31期役員選挙結果 | 2 ページ |
| 2. 新支部長及び新常任理事の互選 | 2 ページ |
| 3. 事業等の担当理事の選任 | 3 ページ |
| 4. 2017年度事業報告及び会計報告 | |
| (1) 2017年度事業報告 | 3 ページ |
| (2) 2017年度会計報告 | 7 ページ |
| 5. 2017年度会計監査報告 | 9 ページ |
| 6. 2018年度事業計画及び予算 | |
| (1) 2018年度事業計画 | 10 ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 10 ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 10 ページ |
| 3) 支部だより | 10 ページ |
| 4) 支部理事会 | 10 ページ |
| 5) 支部強化基金による活動 | 10 ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 11 ページ |
| (2) 2018年度予算案 | 12 ページ |
| 7. その他 | |
| (1) 2018年度秋季大会について | 14 ページ |
| (2) 第39期第2回評議員会 出席概要報告 | 14 ページ |
| (3) 事務局から | 14 ページ |

資 料

- | | |
|-------------------|--------|
| 2018年度の各支部への配算計画 | 15 ページ |
| 役員名簿案（第31期2018年度） | 16 ページ |
| 東北支部規則 | 17 ページ |
| 東北支部細則 | 18 ページ |

議題1. 日本気象学会東北支部第31期役員選挙の結果

第31期東北支部役員選挙は、岩渕幹事を選挙管理人とし3月26日告示、4月19日～5月18日投票、5月25日開票事務を実施。次のとおり役員が決定した(あいうえお順)。

在仙理事

青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
大林 正典 氏	仙台管区気象台長
折坂 章子 氏*	日本気象協会東北支社総務課長
加藤 廣 氏*	仙台管区気象台気象防災部予報課長
菅原 敏 氏*	宮城教育大学理科教育講座教授
杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
西尾 利一 氏*	仙台管区気象台気象防災部長
山崎 剛 氏*	東北大学大学院理学研究科教授

地方理事

中澤 博志 氏*	山形地方気象台長
福田 正人 氏*	青森地方気象台長
谷田貝 亜紀代 氏*	弘前大学大学院理工学研究科教授

会計監査

吉田 薫 氏*	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
---------	-----------------------

*印は新任

議題2. 新支部長及び新常任理事の互選

「支部規則」第10条に基づき、新支部長、新常任理事を選出する。
事務局(案)は次のとおり。

*事務局(案)

支部長	大林 正典 氏	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	山崎 剛 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	菅原 敏 氏	宮城教育大学理科教育講座教授
	杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
	折坂 章子 氏	日本気象協会東北支社総務課長
	西尾 利一 氏	仙台管区気象台気象防災部長
	加藤 廣 氏	仙台管区気象台気象防災部予報課長

議題3. 事業等の担当理事の選任

事務局(案)は次のとおり

- | | |
|--|---|
| ①支部気象講演会
(2018年度山形開催)
(2019年度青森開催) | ○青木常任理事
○中澤地方理事
○福田地方理事
○谷田貝地方理事 |
| ②支部気象研究会 | ○加藤常任理事 |
| ③東北支部だより | ○山崎常任理事 |
| ④支部独自活動 | 杉山常任理事 |
| ⑤支部事務局 | ○加藤常任理事 |
| ⑥会計監査 | ○吉田会計監査 |

○印は新任

・東北支部第31期役員任期は2019年度まで

- ・理事および会計監査に欠員を生じた場合は支部規則に沿う
- ・支部長の代行は支部規則に沿う

※ 日本気象学会東北支部第31期役員名簿案は、 16ページのとおり。

議題4. 2017年度事業報告及び会計報告

(1) 2017年度事業

1) 東北支部気象講演会

日時：平成29年10月28日(土)14時～16時30分(開場13時30分)

場所：秋田大学60周年記念ホール

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

テーマ：「激甚化する気象災害に備えて」

演題および講師：

(1)「近年における大雨災害と防災気象情報の利活用」

和田 幸一郎氏(秋田地方気象台長)

(2)「秋田県における雪氷災害について」

本谷 研氏(秋田大学 准教授)

司会：津田 紗矢佳氏(気象予報士)

参加人数：105名

主催：日本気象学会東北支部

共催：秋田地方気象台

後援：秋田県、秋田市、秋田大学、日本気象予報士会東北支部

2) 支部強化基金による活動

第8回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成30年3月4日（日）14時～16時（開場13時30分）

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

〒983-0842 宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3番15号

テーマ：「集中豪雨はどうして起こる？線状降水帯って何だろう？」

話題提供：高野 健志氏（仙台管区気象台気象防災部予報課）

司会：岡田 みはる氏（日本気象予報士会）

参加人数：約37名

主催：日本気象学会東北支部・日本気象予報士会東北支部

共催：日本科学協会・日本気象協会東北支社・仙台管区気象台

後援：宮城県教育委員会・仙台市教育委員会

3) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日時：平成29年12月4日（月）10時00分～17時15分

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

発表：24題（発表応募17題（前年比+5題）、仙台管区気象台東北地方調査研究会7題）

参加人数：約60名

気象研究会の発表演題、著者（発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・アンサンブル週間葉面湿潤度予報

○池田 翔¹、菅野 洋光²、山崎 剛¹（1：東北大学大学院理学研究科、2：農研機構農業環境変動研究センター）

- ・大規模アンサンブル水稻生育シミュレーションによる気候変動に伴うコメ生産の安定性の評価

○吉田 龍平（福島大学共生システム理工学類）、福井 眞（早稲田大人科）

- ・秋田県大潟村における最近30年間のダイズの単収とその6～8月の気圧・気温・降水量との関係

○鈴木 歩乃花、井上 誠、木口 倫、渡邊 陽貴、佐藤 孝、露崎 浩、藤井 吉隆、永吉 武志、近藤 正、津田 渉（秋田県立大学生物資源科学部）

- ・作柄概況資料による東北地方における水稻作期の長期変化

○大久保 さゆり、長谷川 利拡（農研機構東北農業研究センター）

- ・日本列島および地球の温暖化と海域海面水温の経年変化

○今清水 雄二（無所属）

- ・札幌・東北日本海側の降雪地域分布と経年変動特性

○谷田貝 亜紀代、木下 知里（弘前大学大学院理工学研究科）

- ・畳込みニューラルネットワークを用いた雲量計測手法

○徳竹 正行、富岡 洋一、小平 行秀、齋藤 寛（会津大学 コンピュータ理工学部）

- ・ドローン(UAV)を用いた秋田上空における二酸化炭素の鉛直分布観測
○井上 誠、芳賀 ゆうみ、永吉 武志、間所 洋和、高階 史章、木口 倫 (秋田県立大学生物資源科学部)、森野 勇 (国立環境研究所)
- ・岩手蕨川の低温に関する一考察
○舞良 弘規、名越 利幸 (岩手大学教育学部)
- ・秋田県内積雪観測アメダスの積雪状況について
○本谷 研 (秋田大学教育文化学部)
- ・日本における日降水グリッドデータの風による捕捉損失の補正
○増田 南波、谷田貝 亜紀代 (弘前大学大学院理工学研究科)、上口 賢治 (気象庁)、田中賢治 (京大防災研)
- ・温位座標に基づく寒気流出の将来変化
○菅野 湧貴、岩崎 俊樹 (東北大学大学院理学研究科)
- ・極東地域における2016年1月の大寒波についての寒気質量解析
○山口 純平、菅野 湧貴、岩崎 俊樹 (東北大学大学院理学研究科)
- ・青森市における地形性降雪の影響要因
○高橋 采伽、石田 祐宣 (弘前大学大学院理工学研究科)
- ・Meso循環と放射性物質の輸送・拡散
○渡邊 明 (福島大学共生システム理工学類)
- ・岩手雫石盆地の霧に関する数値シミュレーション
○小川 浩輝、名越 利幸 (岩手大学教育学部)
- ・Atmospheric Riverが日本の豪雨に与える影響
○末藤 菜保、谷田貝 亜紀代 (弘前大学大学院理工学研究科)、高藪 縁 (東京大学大気海洋研究所)

4) 東北支部だより

■第85号 (2017年9月発行)

- ・ 支部長就任あいさつ：大林 正典氏 (日本気象学会東北支部長)
- ・ 寄稿「ごあいさつ」
：谷田貝 亜紀代氏 (弘前大学)
- ・ 寄稿「大学での気象学について考える」
：吉田 龍平 氏 (福島大学共生システム理工学類)
- ・ 2016年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2017年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・ 2017年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・ 第8回気象サイエンスカフェ東北の開催について
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・ 事務局からのお知らせ

■第86号（2018年3月発行）

- ・ 寄稿「コンパクトなフルスペック地方气象台のご紹介」
：高野 一生氏（秋田地方气象台）、仙台管区气象台（支部事務局）
- ・ 平成29年度気象講演会報告
：秋田地方气象台
- ・ 2017年度日本気象学会東北支部気象研究会報告
：斎藤 篤思氏（日本気象学会東北支部 事務局）
- ・ 事務局からのお知らせ

5) 支部理事会

- ・ 臨時回（2017年4月4日～13日，書面開催による）
- ・ 第1回（2017年5月8日，仙台管区气象台第1会議室）
- ・ 第2回（2018年3月6日，仙台管区气象台第4会議室）

6) 日本気象学会奨励賞の推薦

- ・ 推薦はなし

(2) 2017年度会計報告

〔支部一般会計〕(2017年4月1日～2018年3月31日)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1550,400円	550,400円	0円
前期繰越金	150,692円	150,692円	0円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	50円	5円	45円
事業活動収入計(1)	701,142円	701,097円	45円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000円	201,782円	48,218円
支部気象研究会	100,000円	89,100円	10,900円
支部だより	200,000円	195,053円	4,947円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	85,000円	57,074円	27,926円
支部役員選挙	0円	2,644円	△2,644円
事務費	50,000円	3,994円	46,006円
事業活動支出計(2)	700,000円	564,647円	135,353円
III 予備費支出			
予備費支出	1,142円	0円	1,142円
予備費支出計(3)	1,142円	0円	1,142円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)	0円	136,450円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：本部交付金は、支部会員167名×1,200円+35万円。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	95,000 円	95,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	20,000 円	20,000 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	115,000 円	115,000 円	0 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	35,000 円	91,217 円	△56,217 円
会場費 開催費	35,000 円	10,283 円	24,717 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	5,000 円	2,396 円	2,604 円
役務費・交通費	25,000 円	5,000 円	20,000 円
事業活動支出計(2)	115,000 円	108,896 円	6,104 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	*16,104 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：残金6,104円は、2018年3月15日に事務局本部に返納した。

議題5. 2017年度会計監査報告

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2018年3月26日

日本気象学会東北支部会計監査

小池二郎

議題6. 2018年度事業計画及び予算

(1) 2018年度事業計画

1) 東北支部気象講演会

- ・今年度は山形地方気象台と共催で実施予定だが、詳細は検討中。

2009年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者	
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔
		渡辺 真二	廣川 康隆
2016年度	盛岡市	山本 浩之	名越 利幸
2017年度	秋田市	和田 幸一郎	本谷 研

気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する方針とする。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

2) 東北支部気象研究会

- ・仙台管区気象台との共催で開催を予定する。
- ・2018年度は秋季大会を仙台市で開催するため、本年度に限り開催を休止する。

3) 東北支部だより

- ・年2回発行(第87号、88号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2017年度と同様に業者発注とする。

4) 支部理事会

- ・例年は年2回（5～6月、3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

5) 支部強化基金による活動

- ・気象サイエンスカフェ東北を、2018年7月15日に仙台市で開催する(予定)。テーマ、広報等について、日本気象予報士会東北支部と打ち合わせを行いつつ、準備を進めていく。

【概要】

日 時：7月15日(日)

会 場：東北大学(学都仙台サイエンスデイ2018における実施)

テーマ：地球温暖化あれこれ(仮)

詳細は別添1参照

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

(2) 2018年度予算案

〔支部一般会計〕

	2018年度 予算額	2017年度 予算額	予算増減額 [2018年—2017年]	2017年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	*1556,400円	550,400円	6,000円	550,400円
前期繰越金	136,450円	150,692円	△14,242円	150,692円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入				
預金利息	5円	50円	△45円	5円
事業活動収入計(1)	692,855円	701,142円	△8,287円	701,097円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円	201,782円
支部気象研究会	0円	100,000円	△100,000円	89,100円
支部だより	200,000円	200,000円	0円	195,053円
ホームページ 運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	85,000円	85,000円	0円	57,074円
支部役員選挙	30,000円	0円	30,000円	2,644円
事務費	50,000円	50,000円	0円	3,994円
事業活動支出計(2)	630,000円	700,000円	△70,000円	564,647円
III 予備費支出				
予備費支出	62,855円	1,142円	61,713円	0円
予備費支出計(3)	62,855円	1,142円	61,713円	0円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	136,450円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1本部交付金は、支部会員172名（2018年4月1日現在）×1,200円+35万円。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2018年度 予算額	2017年度 予算額	予算額増減 [2018年-2017年]	2017年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	95,000円	95,000円	0円	95,000円
気象予報士会東北支部分担金	*120,000円	20,000円	0円	20,000円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	115,000円	115,000円	0円	115,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	45,000円	35,000円	10,000円	91,217円
会場費 開催費	25,000円	35,000円	△10,000円	10,283円
講師謝金	15,000円	15,000円	0円	0円
事務費	5,000円	5,000円	0円	2,396円
役務費・交通費	25,000円	25,000円	0円	5,000円
事業活動支出計(2)	115,000円	115,000円	0円	108,896円
当期収支差額=(1)-(2)	0円	0円	0円	6,104円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：2018年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

議題7. その他

(1) 2018年度秋季大会について

詳細は別添2参照

(2) 第39期第2回評議員会 出席概要報告

詳細は別添3参照

(3) 事務局から

① 東北支部会員数（個人会員）

2018年4月10日現在

県名	会員数	2018.02
青森県	26名	25名
岩手県	17名	17名
秋田県	14名	14名
山形県	16名	15名
宮城県	77名	75名
福島県	21名	23名
合計	171名	169名

2名増

支部メーリングリスト登録者数

2018年4月10日現在

県名	登録者数	2018.02
青森県	22名	21名
岩手県	11名	10名
秋田県	11名	12名
山形県	9名	8名
宮城県	56名	53名
福島県	14名	15名
合計	123名	119名

4名増

② 旅費等について

理事会参加に係る交通費については

青森は 21,000円 [10,500円×2]

弘前は 22,300円 [11,110円×2]

秋田は 20,100円 [10,030円×2]

盛岡は 12,200円 [6,090円×2]

山形は 2,100円 [900円×2+140円×2]

福島は 2,600円 [1,280円×2]

仙台、岩沼は500円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は上記に準ずるものとする。

2018年度の各支部への配算計画（支部交付金、支部活動強化基金補助額等）

2018年度_各支部への配算計画（支部交付金・夏季大学補助金・支部活動強化基金補助金）

2018.04.10

支部	北海道		東北		中部		関西			九州				沖縄		合計
	S.カフエ	支部顕彰	S.カフエ東北	S.カフエ	例会旅費補助	S.カフエ	毎季開催合同連部総明会	ジュニアセッション	S.カフエ九州	S.カフエ鹿児島	支部奨励賞	S.カフエin	子供気象学士教室	61		
個人会員数(4月1日)	175		172	271	473		197							61	1,349	
支部交付金	560,000		556,400	675,200	917,600		586,400							423,200	3,718,800	
夏季大学補助金	0		0	100,000	100,000		0							100,000	300,000	
支部活動強化基金補助金	S.カフエ 100,000	支部顕彰 50,000	S.カフエ東北 95,000	S.カフエ 69,000	例会旅費補助 90,000	S.カフエ 40,000	毎季開催合同連部総明会 50,000	ジュニアセッション 220,000	S.カフエ九州 94,000	S.カフエ鹿児島 94,000	支部奨励賞 60,000	S.カフエin 100,000	子供気象学士教室 120,000			
小計	150,000		95,000	69,000	180,000		468,000							220,000	1,182,000	
計	710,000		651,400	844,200	1,197,600		1,054,400							743,200	5,200,800	
支部交付金留置額	△ 183,309		0	0	△ 233,615		△ 242,309							△ 1,235	△ 660,468	
支給交付額	526,691		651,400	844,200	963,985		812,091							741,965	4,540,332	
前期繰越金	463,309		136,450	67,940	692,415		535,509							212,835	2,108,458	
期首予算高	990,000		787,850	912,140	1,656,400		1,347,600							954,800	6,648,790	

日本気象学会東北支部第31期2018年度役員名簿（案）

2018年6月11日現在

支部長	大林 正典	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
	菅原 敏	宮城教育大学教授（理科教育講座）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	折坂 章子	日本気象協会東北支社総務課長
	西尾 利一	仙台管区気象台気象防災部長
	加藤 廣	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
	中澤 博志	山形地方気象台長
	福田 正人	青森地方気象台長
会計監査	吉田 薫	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
幹事	岩渕 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	渕上 隆雄	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	中川 憲一	仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 技術専門官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上